

## 9 県総合計画について

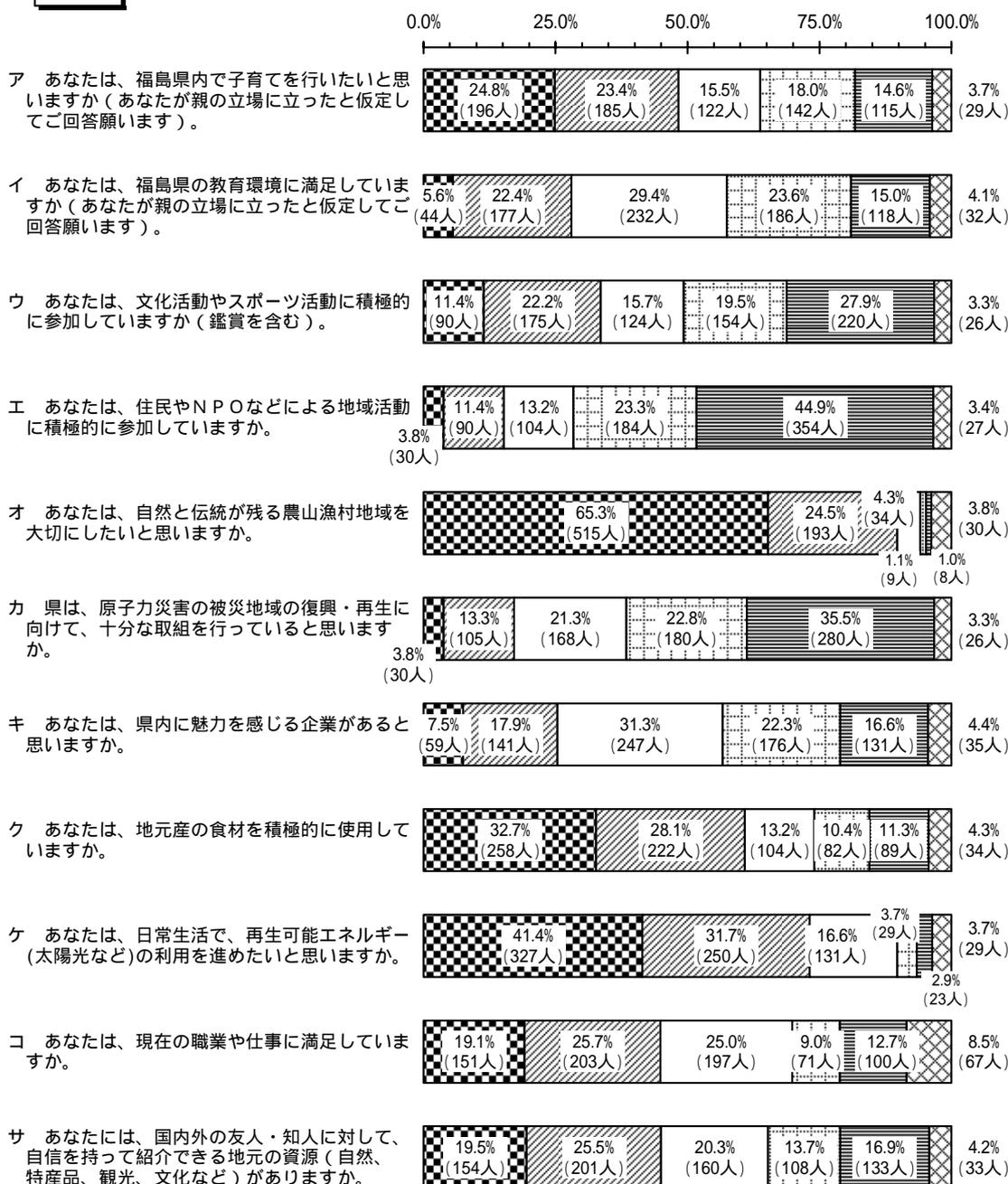
### (1) 福島県の現状

問31 次にあげた（ア）～（ニ）の項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。

それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに をつけてください。

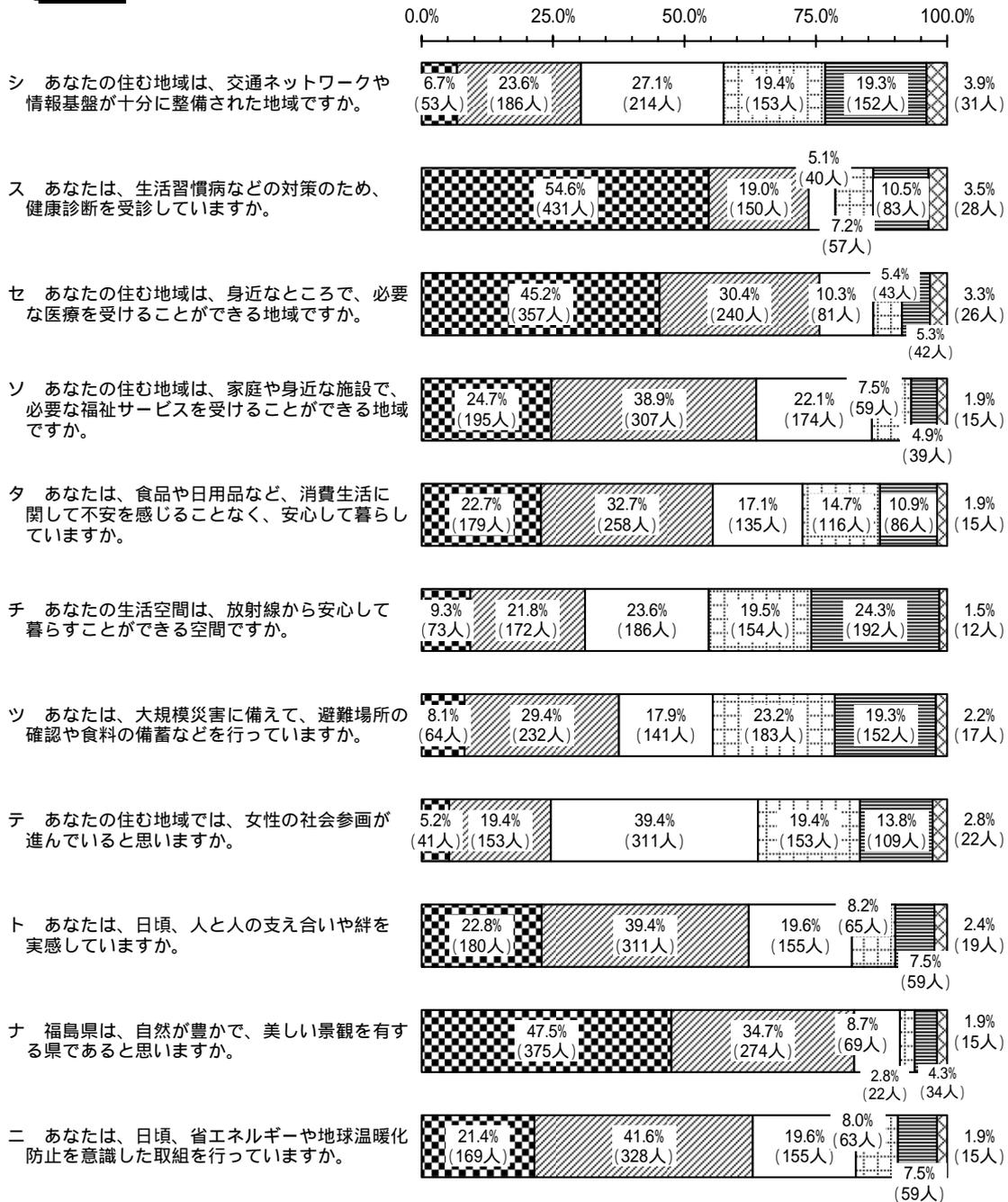
- はい  どちらかと言えば「はい」  
 どちらとも言えない・該当しない  どちらかと言えば「いいえ」  
 いいえ  無回答

全体  
(n=789)



全体  
(n=789)

はい  
 どちらとも言えない・該当しない  
 いいえ  
 どちらかと言えば「はい」  
 どちらかと言えば「いいえ」  
 無回答



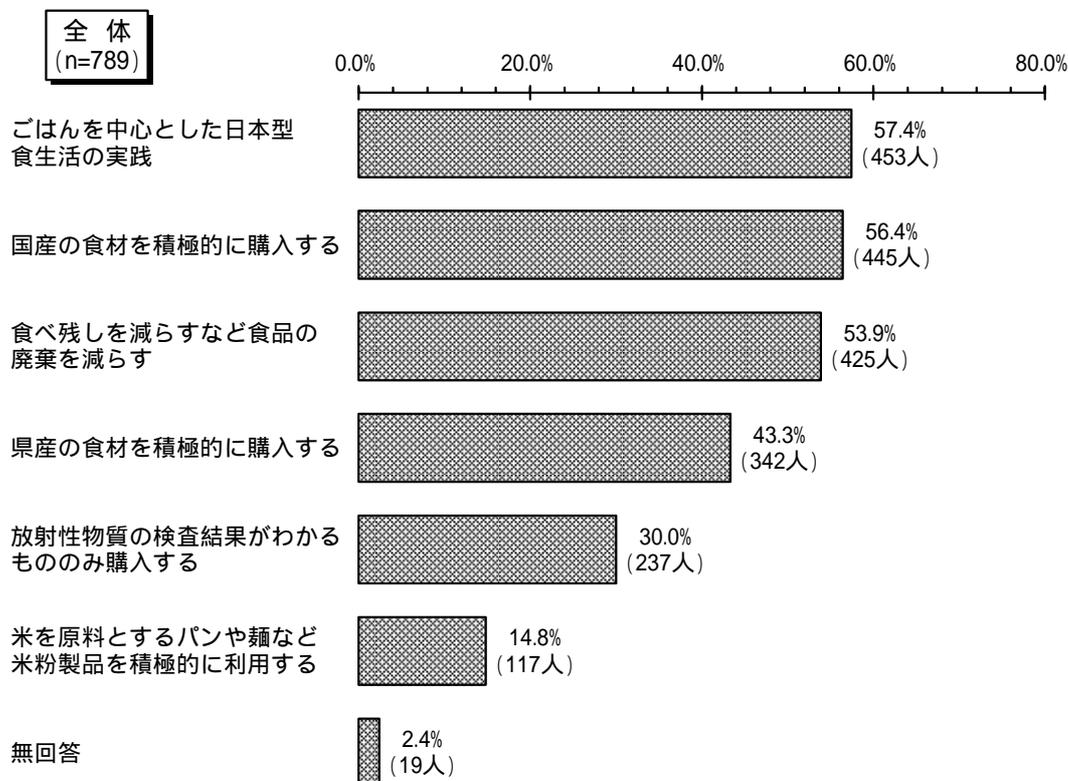
あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。  
(65.3%)に「はい」と回答した人が最も多く、6割を超えている。次いで、あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。(54.6%)が続いている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。(89.7%)が最も多く、約9割となっている。福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。(82.3%)が8割台、あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか。(75.7%)、あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。(73.6%)、あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー(太陽光など)の利用を進めたいと思いますか。(73.1%)が7割台、あなたの住む地域は、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域ですか。(63.6%)、あなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。(63.0%)、あなたは、日頃、人と人の支え合いや絆を実感していますか。(62.2%)、あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。(60.8%)が6割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。(68.2%)が7割弱で最も高くなっている。以下、県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取組を行っていると思いますか。(58.3%)、あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。(47.4%)、あなたの生活空間は、放射線から安心して暮らすことができる空間ですか。(43.9%)、あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。(42.5%)が続いている。

## (2) 実践している（したい）農林水産物の購入や食生活

問32 震災後、あなたが農林水産物の購入や食生活において、以下の行動のうち実践しているまたは実践したいと考えていることはありますか。あてはまるものいくつかでもをつけてください。

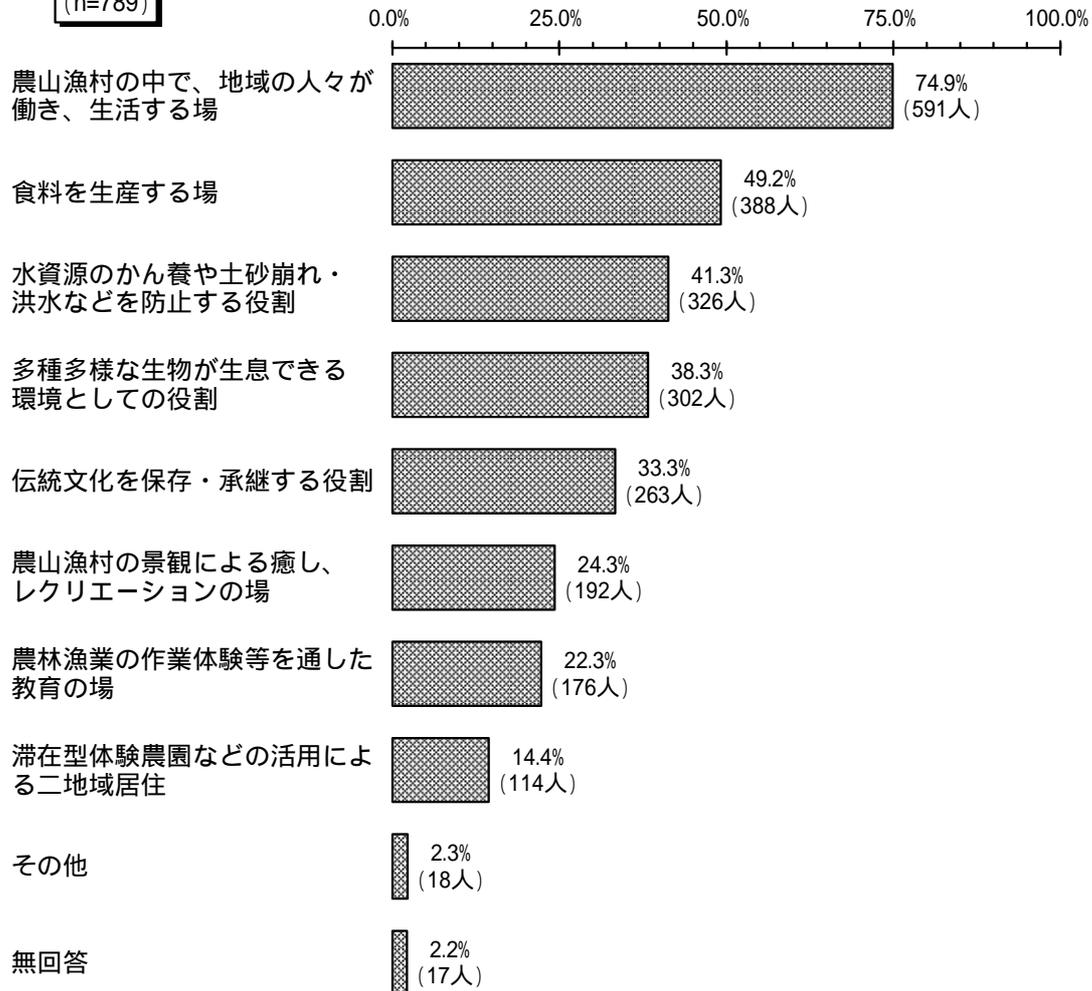


実践しているまたは実践したい農林水産物の購入や食生活は、「ごはんを中心とした日本型食生活の実践」（57.4%）が最も多く、次いで、ほとんど差がなく「国産の食材を積極的に購入する」（56.4%）が続いている。以下「食べ残しを減らすなど食品の廃棄を減らす」（53.9%）、「県産の食材を積極的に購入する」（43.3%）、「放射性物質の検査結果がわかるもののみ購入する」（30.0%）、「米を原料とするパンや麺など米粉製品を積極的に利用する」（14.8%）となっている。

### (3) 農山漁村に期待すること

問33 あなたが本県の農山漁村に期待することは何ですか。  
 あてはまるものはいくつでもをつけてください。

全体  
 (n=789)



農山漁村に期待することは、「農山漁村の中で、地域の人々が働き、生活する場」(74.9%)が最も多く、7割を超えている。以下、「食料を生産する場」(49.2%)と「水資源のかん養や土砂崩れ・洪水などを防止する役割」(41.3%)が4割台、「多種多様な生物が生息できる環境としての役割」(38.3%)と「伝統文化を保存・継承する役割」(33.3%)が3割台、「農山漁村の景観による癒し、レクリエーションの場」(24.3%)と「農林漁業の作業体験等を通じた教育の場」(22.3%)が2割台、「滞在型体験農園などの活用による二地域居住」(14.4%)が1割台となっている。